学校だより

翔　　空

№２９　平成２３年１１月２４日（木）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空（しょうくう）」の由来　〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚（ふうこうめいび）なこの学舎（まなびや）から、**希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願い**を込めて、翔空の碑ができた。

［防犯教室（不審者対策）がありました］

過日（１１月２１日〔月〕）、校内で不審者侵入時の対応について確認するために、避難訓練・防犯教室が行われました。下の写真は、その時の模様です。

一口に不審者対策と言っても、難しいことが多くあり、中でも①教職員が、子どもを守るためにいかに各ポジションで行動を起こすかと②生徒自身が、周囲に助けてくれる大人がいない場合はどうするか、この２点が重要です。防犯ボランティアの國分さんには、具体的なお話と護身術をみんなで教わりました。「自分の命は、最終的に自分で守る」の言葉が印象的でした。

【世界の名言（英語版）⑧】
「世界の名言」の第８弾です。どうぞお楽しみください。

People rarely succeed unless they have fun in what they are doing. ***（楽しめないことで、成功するというのは難しい。）***

～デール・カーネギー　著述家～

成功の秘訣を一言で表現したものと言えるでしょう。かの有名なカーネギー氏だからこそポイントを言い当てた適切な表現となっています。（ピープル　レアリー　サクシード　アンレス　ゼイ　ハブ　ファン　イン　ホワット　ゼイ　アー　ドゥイング）

「みんなと笑う学校づくり」
～「会津教学」（山口善巳先生著）から～

先週、本棚を整理していたらふとした拍子に２年前いただいた一冊の本に出会いました。その小冊子の名前は、**「会津教学～教師・常にあるべき姿を求めて～」**。２年前の春に坂下小学校を最後に退職なされた山口善巳校長先生が書かれたものです。その本の序文にあたる所には、次のような解説がなされています。

会津には、先輩から脈々と受け継がれてきた会津の教え『会津教学』があります。最近この『会津教学』が全国でも注目を浴び、会津藩校日新館教育や日新館童子訓**「什の教え（掟）」**など伝統的な規範意識を見直し、再度学校教育の精神的支柱にすえようとする機運があります。（以後、省略）

この冊子には、故人の教え、著名人の名言、ある作品からの引用等々、たくさんの知恵や知識がつまっています。中でも私が特に気に入ったのは、次に紹介する文章なのですが、最初読んだときには、ふと自分自身を振り返ってしまいました。

『みんなと笑う』学校をつくっていきましょう。**「と」と「を」のその一字違い**で子どもたちの心の育ちが違ってきます。信頼関係の大切さを強く思います。

良い校長は、先生たちと笑う。
悪い校長は、先生たちを笑う。
良い先生は、子どもたちと笑う。
悪い先生は、子どもたちを笑う。
良い保護者は、先生たちと笑う。
悪い保護者は、先生たちを笑う。
良い地域は、学校と笑う。
悪い地域は、学校を笑う。
良い学校は、みんなと笑う。
悪い学校は、みんながみんなを笑う。

オリジナルなものなのかどうなのかはわかりませんが、とても味わいのある言い回しであると感じ、以来、肝に銘じることにしています。

理想の学校、それは私からすれば、「地域まで子どもたちの声（できれば、子どもたちと教師の声）がしっかりと聞こえ、元気な学校」です。でも、もう一つつけ加えたくなりました。そうです。みんなと一緒に笑う学校です。理想を追い求める者のみに理想の実現があるとはよくいいます。理想を持たない所に理想の実現はありえません。

日々、大きな理想に向かい努力したいと思います。あと１ヶ月半ほどで待ちに待ったクリスマスや冬休みがやってきます。今年はどんな思い出づくりが待っていることでしょう。